

2019
11月号

原水協通信

国連NGO原水爆禁止日本協議会

毎月1回6日発行

頒価 220円

電話 (03)5842-6031

FAX (03)5842-6033

〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-2-4



原水爆禁止大阪府協議会 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第3ビル210号 tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

2020年、歴史的な年の運動方針を満場一致で採択!大阪原水協第57回定期総会



非核の政府・自治体・ヒバクシャ・市民の共同の力で
2020年に核なき世界を、核兵器禁止条約の発効を!

大阪原水協の第57回定期総会が10月30日、大阪市内で開催されました。

川辺理事長のあいさつに続いて、統事務局長から2019年経過報告と2020年にむけての運動方針の提案。引き続き三宅事務局次長から決算及び予算案が提案されました。

来年度の活動の特徴は、トランプ政権を先頭にする核兵器固執勢力と廃絶をめざす勢力（非核国と市民）との厳しい闘いです。トランプ政権のINF廃棄条約の破棄にと



なつて日本列島（沖縄など）に2年以内に核弾頭搭載可能な中距離ミサイル配備を計画（琉球新報10月3日付、朝日新聞10月22日付）するなど危険性がまっています。そうした中2019年世界大会（長崎）でオーストリア政府代表が「今こそ市民社会、運動、被爆者が必要だ」「この核軍縮が困難なときこそ、みなさんの存在は希望なのです」との発言は、長年にわたって核兵器廃絶を訴えてきた日本の原水爆禁止運動が世界政治として

かりリンクされたことを示しています。核兵器禁止条約を支持する国際的な流れは核大国の圧力をはねのけて33か国（10月30日現在）が批准しています。
当面の行動計画
①「ヒバクシャ国際署名」を新たな構えで飛躍させる、来年初の国

連総会までに大阪100万の目標を達成するべくとりくみを強化します

②4月「世界大会」（ニューヨーク）8月広島を成功させます

③日本政府に核兵器禁止条約を調印、批准を迫る世論、共同を前進させます

④安倍9条改憲阻止をはじめとする国民のたたいとの連帯を強化します

⑤被爆者援護・連帯活動を本格的に推進します

⑥大阪原水協の組織・財政の強化をはかります

質疑応答には、大阪労連からニューヨーク派遣が決まった松本**さんが労連として

学習を重視して取り組みをすすめていくとの

発言。

寝屋川の中谷光夫さんは対市交渉を重視してきたと

み、被爆者を中心にニューヨーク派遣を取り組んでいる発言。

八尾の木村薫さんは年間予算10万円で活動に取り組んでいる地域原水協の現状、そのなかでも運動をすすめる署名1万3000筆に到達、目標の1万5000筆に向けて頑張

っている報告。

旭区の〇〇**さんからは、区民の多くの人びとに知ってもらうために宗教界の人びとに賛同してもらおう幅広い署名の会の結成にむけての報告。

堺の野田**さんは地域での平和行進に青年たちが数多く参加していること、世界大会に初参加した研修医が被爆者のお話しを直接聞いて「他人事ではいけない」と感想をもつなど、

耳原からニューヨークに何名か派遣していきたいと報告。

西淀川の矢野**さんは、6・9行動のほかにローラー作戦を地域ごとに決めて取り組んでいること、ニューヨークには7名派遣が確定している

発言。

最後に大阪平和委員和委員の鈴木**さん

からニュー

ヨーク行動の予算が示されていないことなどの質問が出されました。

川辺理事長から提案された2020年度の役員体制を含めて満場一致で採択されました。今期で退任される山崎義郷さん、後任の事務局に入局される染原剛さんが紹介されました。

最後に集会アピールが提案され拍手で採択されました。

なのお来賓として日本共産党から渡部結さんが幼きころの「はだしのゲン」を見たのが今の自分の原点であること、2年前に参加した世界大会でのオーストリア政府代表に運動の確信をえたことなど発言があり、運動の先頭にたつ決意をのべ連帯のあいさつをされました。



八尾の木村薫さんは年間予算10万円で活動に取り組んでいる地域原水協の現状、そのなかでも運動をすすめる署名1万3000筆に到達、目標の1万5000筆に向けて頑張



寝屋川の中谷光夫さんは対市交渉を重視してきたとみ、被爆者を中心にニューヨーク派遣を取り組んでいる発言。



旭区の〇〇**さんからは、区民の多くの人びとに知ってもらうために宗教界の人びとに賛同してもらおう幅広い署名の会の結成にむけての報告。



川辺理事長から提案された2020年度の役員体制を含めて満場一致で採択されました。今期で退任される山崎義郷さん、後任の事務局に入局される染原剛さんが紹介されました。



最後に集会アピールが提案され拍手で採択されました。

核兵器禁止条約批准国
10月18日ドミニカが批准し、33か国（あと17か国で50か国）
ヒバクシャ国際署名数
57万6483筆
（10月30日現在）
2020年100万筆、あと42万筆を集め国連に届けよう！
2020年NPT&世界大会inNY
大阪から100名の代表派遣を

